



### 『涙なみだの卒業式』～新たな門出へ向けて～

菜の花の香り漂う季節。町内にある3中学校の体育館では、9年間の義務教育を終えた174人（大崎中111人、菱田中33人、第一中30人）が卒業式を迎えた。

「卒業生入場」ぶかぶかの制服を着て入場した3年前の春とは見違えるほど成長した卒業生が入場。堂々としたその表情は、新たなスタートラインを目の前に、自信に満ち溢れていた。

卒業式は順調に進み、卒業生代表が3年間の思い出や感謝の言葉を述べると、卒業生の目からは、これまで我慢していた大粒の涙がこぼれた。

これから、それぞれの道を歩いていく卒業生。1度きりの人生を精一杯生きてもらいたい。

### 『健康づくり講演会・フォーラムを開催』

2月24日(日)、町中央公民館において鹿児島農村医学研究会第34回地方研究集会在開催され、町内外から約300名が参加しました。鹿児島大学大学院の於保孝彦教授による特別講演「元気なお口で健康ライフ」、「大崎町 口腔力 こんなに高まったよ フェスティバル」、寸劇「ハハの歯」、健康フォーラム「大崎町におけるいきいき健康づくり」の内容で、大崎町の口腔調査や健康実態調査の報告も行われ、今後の大崎町における健康づくりの方向性が示唆されました。



良江先生による講話と、レクリエーションの後には食生活改善推進員の皆さんが作ってくださった豚汁とおにぎりが振る舞われ、郷土料理に舌鼓を打っていました。

午後からは各グループの発表会があり、運動普及推進員の皆さんが初めて取り組んだ寸劇「はっするばあちゃん物語」は、笑いの渦にまかれました。また、野方マスターズの皆さんは、ズンドコ節に合わせた体操をいきいきと披露されました。

### 『運動推進員がすこやか交流会を開催』

3月7日(金)、町総合体育館において、すこやか交流会が開催されました。これは、大崎町健康運動普及推進員連絡協議会が、町内のマスターズプロジェクトや老人クラブ、スリム会などのグループで活動している、おおむね65歳以上の方々に声かけをして「楽しく動いて、体とこころの健康づくり」を目的に、今年度初めて開催したもので、町内から約80人の参加がありました。

交流会では、鹿児島県レクリエーション協会の山本

